

JALUX
ライフデザイン

バックアップ事業初受託

介護施設運営スキームで

その事業者が代わって施設運営を担う。出資者にとっては、施設が安定運営を持続するための滑り止めのような位置づけで、介護施設の流動化スキームには欠かせない存在だ。今回、JALUXライ

フデザインがバックアップ・オペレーターを受託したのは、メッセージが運営する介護施設「アミューレ」(西田辺駅前(大阪市阿倍野区))。介護施設特化型ファンドのリエゾン・パートナーズ(東京都港区)がJALUXライフデザインの「介護施設事業者の実績とともに、総合商社グループである信用力」(秋元二郎リエゾン・パートナーズ社長)を評価し、アレンジャー。JALUXライフデザインでは今後3年間で計15件程度のバックアップ・オペレーター受託を目指す。

JALUXグループで介護施設運営のJALUXライフデザイン(東京都品川区)は、ファンドを活用した介護施設運営スキームでバックアップ・オペレーター業務を初めて受託した。同業務は介護施設事業者として一定水準以上の実績やノウハウが必要で、受託実績は信頼力アップに寄与する側面もある。JALUXライフデザインは同事業の初受託をアピールし、本業の介護施設運営の強化につなげる考え。バックアップ・オペレーターは介護施設運営事業者が倒産などした際、